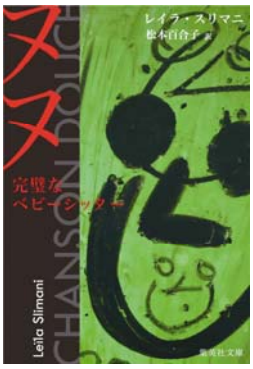
2018.9.27

プレスリリース
Feuilles d' automne 2018

# 読書の秋 2018

**アンスティチュ・フランセ関西では、「読書の秋」と題し、フランス語で創作された文芸作品を広く知っていただくために、毎年、フランスや日本の素晴らしい文筆家やマンガ家を取り上げます。今年は、NHKで今秋放映される『ラディアン』の作者、トニー・ヴァレント、2016 年ゴンクール賞受賞作家、レイラ・スリマニ、2017 年ルノドー賞受賞のオリヴィエ・ゲーズ、ヴィラ九条山に滞在するオリヴィア・ローゼンタール他、ミュージアムや大学と協力し、数多くのイベントを開催致します。**




**2016 年ゴンクール賞受賞作品『ヌヌ 完璧なベビーシッター』の作者**
**レイラ・スリマニを迎えて**
11 月 22 日（木） 14:40～16:10
関西大学 千里山キャンパス 第 1 学者 1 号館 A602
入場無料 逐次通訳付
2014 年、処女作『人食い鬼の庭（仮）』でデビュー。次の作品『ヌヌ 完璧なベビーシッター』では、ある時代とその時代のコントラストを、鋭くも乾いた文体で描き出しています。作品の映画化も決定している、話題の作家です。

**オリヴィエ・ゲーズを迎えて～邦訳版『ヨーゼフ・メンゲレの逃亡』出版記念**
11 月 13 日（火） 16:50～18:20
関西学院大学 上ヶ原キャンパス文学部 4 号教室
入場無料 逐次通訳付
ジャーナリスト・作家であるオリヴィエ・ゲーズは歴史から想を得た数々の文学作品の作者。2017 年にルノドー賞を受賞しました。「死の天使」と呼ばれたナチスの元親衛隊軍医ヨーゼフ・メンゲレの生涯についての長期にわたる資料調査から生まれた最新作は、その逃亡劇を追う作品です。

**トニー・ヴァレント × 助野嘉昭トークショー**
11 月 17 日（土） 14:00～16:00
京都国際マンガミュージアム1階 多目的ホール 逐次通訳付
入場無料・但し、ミュージアムの入場料は別途必要
マンガが生まれた日本で、その翻訳が出版された初のフランス人少年マンガ家、トニー・ヴァレントと、日本の人気少年マンガ家、助野嘉昭のトークショー。イベント後には出演者のサイン会も行われる予定です。

**「読書マシン」—デジタル絵本展**
11 月 10 日（土）～24 日（土）
アンスティチュ・フランセ関西—京都
入場無料
フランクフルトのブックマーケットや台北のブックサロンでも紹介された「読書マシン」展が日本にもやってきます。インスタグラムのグラフィックノベル、マンガアプリ、インスタレーション、インタラクティブ物語といった新しい読書を体験できる展覧会です。初回のガイドツアーには、アプリ「ルージュベックのだいぼうけん」の製作者、アガット・ドゥモワとヴァンサン・ゴドーも参加。

**ダヴィッド・ボスクの作品朗読と講演会**
**画家ギュスターヴ・クールベについての小説をめぐって**
10 月 27 日（土） 16:00～17:30
アンスティチュ・フランセ関西—大阪
入場無料　逐次通訳付
ダヴィッド・ボスクは小説家でありエッセイスト。スタンダール助成金を得て、日本に一ヶ月間滞在しています。彼が愛し賞賛する作家や作品を紹介し、また彼の小説『澄んだ泉（仮）』の抜粋を朗読しながら、絵画をめぐって書くことについて話します。この作品は画家クールベの最晩年の 4 年間を物語るものです。

**文学のプチ・ビストロ～オリヴィア・ローゼンタールを迎えて**
10 月 26 日（金） 18:30～20:30
アンスティチュ・フランセ関西—京都
通訳なし　一般：800 円、クラブ・フランス会員：500 円　※ドリンク 1 杯含む
2018年ヴィラ九条山のレジデントであるオリヴィア・ローゼンタールは、小説と戯曲を手掛ける作家。『クリスマスのあとトナカイは何をする？（仮）』ではリーヴル・アンテール賞を受賞。また、戯曲も手掛けるとともに、公共空間を用いた各種作品の発表も行っています。これらの活動は彼女にとって、文学が取り得る形態を刷新する方法となっています。

**世界を修復する～21 世紀に対峙するフランス文学**
10 月 29 日（月） 16:30～18:00
大阪大学大学院文学研究科　豊中キャンパス
入場無料　逐次通訳付
世界を修復する——読者に触れ、彼らの個人的あるいは集団的な傷を手当てすることに心を砕く現代の作家たちが果たそうとしている使命はこのようなものです。フランス国立科学研究センターのアレクサンドル・ジェファンが、2017 年に出版したエッセイで掘り下げた考察について語ります。

**ご連絡先**：アンスティチュ・フランセ関西-大阪　広報アシスタント：　田村
Tel . 06-6358-7391（代表）-7302（直通）　naoko.tamura@institutfrancais.jp